

会議録

会議の名称	第1回別府市総合戦略審議会
開催日時	令和6年8月26日（月） 15:30～17:10
開催場所	別府市役所1階 レセプションホール
傍聴者	3名
配布資料	1 会議次第 2 審議会委員名簿 3 策定スケジュール等について 4 統計データによる現状分析 5 総合戦略基本目標・取組 KPI 達成状況 6 現行総合戦略及び人口ビジョン
≪会議の内容≫ 1 別府市総合戦略審議会委員委嘱状交付 各出席委員に市長から委嘱状交付、欠席委員に対しては郵送予定 2 市長あいさつ 市長から総合戦略策定への方針等についてあいさつ 3 委員自己紹介 各出席委員から自己紹介 4 委員長、副委員長選任 5 委員長あいさつ 委員長から審議会の役割等についてあいさつ 6 議事 (1) 別府市総合戦略策定に係る審議スケジュール等について (事務局説明) 資料に基づき説明。 (質疑応答) 特に意見等なし。 (2) 統計データ等による現状分析の説明 (事務局説明) 資料に基づき説明。 (委 員) P7:「年齢3区分別人口の推移、将来推計」において、老年人口と比べ生産年齢人口の減少幅が大きい理由は、別府市内に働く場所が少ないためか。 (事務局) P8:「人口ピラミッドの推移」から読み取れるように、生産年齢人口が減少していることが最大の要因であると考えている。 (委 員) 立命館アジア太平洋大学の卒業生の大半が市外へ就職している。卒業生を市内に引き留める(就職してもらう)ことによって、生産年齢人口の減少を抑制できるのではないか。 (事務局) 一つの有効な手段であると考えている。 (委 員) P50:「主観データ(地域の人間関係)」について、今後の自然災害・防災を考える	

とコミュニティが大事な要素になると考えている。地域の人々が自分たちの人間関係をどのように捉えているのか、データの分析結果を教えてください。

(事務局) 結果は、今後事務局で詳細に分析するとともに、若手職員と大学生によるワークショップにおいても分析を進める予定である。

(委 員) P57:「5年後の幸福度」「現在の生活満足度」について、両者平均値が6.0を超えているが、これは良い結果であったという認識で相違ないか。また、現状満足していない層をどうポジティブにするかという方針で戦略を検討するという認識で間違いないか。

(事務局) 認識のとおりである。

(3) 現行戦略KPI達成状況の説明

(事務局説明) 資料に基づき説明。

(委 員) 特に意見等なし

(4) その他

(委 員) 「統計データによる現状分析」P47の地域幸福度指標において、初等教育・中等教育の主観と客観にギャップが大きい結果となっていた。人を育てる・教育は早急に結果が出る分野ではないため、長い目で見る必要がある。別府市で「生まれ、育ち、働く」という観点を第3期戦略では取り入れてほしい。

(委 員) 教育に関しては長期スパンで見据えることが大事である。本当の意味で、別府市で子育てがしたいと思えるような戦略を策定しなければと感じている。

(委 員) デジタル教育（プログラミング、動画編集等）について、別府市と東京都内で実施環境にはあまり差がない。別府市のデジタル教育の水準が上がれば、都心にいるよりも別府にいるほうが土地の値段も物価も安く可処分所得が増えるため、転入者の増加、転出者の減少に寄与すると考えられる。そのため、第3期戦略にはデジタル教育について取り上げてほしい。

引きこもりの子どもにプログラミングを教えて育てることに取り組んでいる会社を、立命館アジア太平洋大学の卒業生が創業している。別府市に対してデジタル教育の提案をしたいという卒業生も多くいるため、卒業生とも交流していくと良いデジタル教育ビジョンが作成できると考えている。

(委 員) DXが騒がれ始めてかなり経つが、進んでいる部分と進んでいない部分があり、各企業がDXを推進したいと考えても、具体的に進められない状況がある。その理由としてはDXをリードする優秀な人材が不足していることが原因と考えている。そのため、人材をしっかりと育てることから始める必要があると感じている。すぐに進められるものではないと思うが、具体的に取り組めるところから進めていけると良い。

7 連絡事項

次回第2回審議会は11月2日（土） 10:00から別府市役所5階大会議室で開催
市民も参加し、グループワーク形式での協議を予定している。